

受験番号	
------	--

令和 4 (2022) 年度横浜国立大学大学院国際社会科学府

博士課程前期 国際経済法学専攻

入学試験 (筆記試験) 問題

# 専門科目

国際法	1
租税法	2
労働法	3
政治学	4
開発協力論	5
法理学	6



## [ 国 際 法 ]

次の第1問および第2問のすべてに解答しなさい。

[第1問]

逃亡犯罪人の引渡しに関する国際法上の原則について論じなさい。(60点)

[第2問]

次の用語について、それぞれ200字前後で説明しなさい。(40点)

- (1) ジェノサイド条約
- (2) 大陸棚
- (3) 総加入条項
- (4) RCEP

# [ 租 税 法 ]

次の第1問および第2問の両方に解答しなさい (各 50 点)。

[第1問] 租税裁定取引(tax arbitrage)について説明しなさい。

[第2問] 租税条約上のセービングの原則(saving rule)について説明しなさい。

## [ 労 働 法 ]

次の第1問から第3問までの中から二問を選択し、解答しなさい。その際、選択した問題の番号を冒頭に記載すること（各50点）。

[第1問] 副業・兼業に係る労働法上の課題を一つ又は複数挙げ、これについて自由に論じなさい。

[第2問] 非正規労働者と正規労働者との間の処遇格差を是正する規制のうち、均衡待遇規制について、近時の最高裁判決を踏まえながら説明しなさい。また、当該規制の適用のあり方について、私見を述べなさい。

[第3問] Xは私立高校Yの非常勤講師であり、Yとの間で業務委託契約を締結し、週2日（1日3コマ×60分）の授業を担当している。Xは、契約書所定の曜日・時限に教室で授業を行うこと及び1年に3回行われる会議・研修に出席することが義務付けられている。授業の準備や採点等を校内にある非常勤講師室で行うか、自宅で行うかは自由である。授業内容について、学習指導要領に従うことの他は、Xの創意工夫に委ねられており、Yから指示を受けることはない。報酬は担当コマ数ごとに設定される。あるとき、Xは校内の階段で転倒し、1か月間休養した。Xは労災保険制度に基づく療養・休業補償給付を受けることができるか。法的問題点を指摘し、これについて論じなさい。

## [ 政 治 学 ]

次の（１）～（４）の中から二問を選択し、解答しなさい。その際、選択した問題の番号を冒頭に記載すること。（各 50 点）

Choose and answer two questions from the following ones. Make sure to clarify which question you have chosen at the beginning of your answer.

（１）リバタリアニズム（自由尊重主義）について定義を示したうえで、リバタリアニズム的な自由主義による福祉国家批判について説明しなさい。

（２）After clarifying the meaning of “neoliberalism”, explain its concrete policies with pros and cons.

（３）今日における主権国家体制の有用性と問題点について論じなさい。

（４）Explain the history of the sovereign state system and the sovereignty in the globalization.

## [ 開発協力論 ]

次の（１）から（３）までの問題のすべてに解答しなさい。

- （１） 開発途上国における国家開発プロセスにおいて発生しうる問題や困難さを特定し、それらを生み出している構造的なメカニズムを説明せよ。（４０点）
- （２） 上記のプロセスに海外のドナー等が加わって展開される国際開発協力のプロセスにおいて発生しうる特有の（つまり上記（１）とは異なる）問題や困難さを特定し、それらを生み出している構造的なメカニズムを説明せよ。（３０点）
- （３） （１）および（２）のような構造のなかで、より効果的、効率的に国家開発や国際開発協力を進めていくために不可欠と思われる制度や仕組み、取組み、組織などを提示するとともに、その理由について説明せよ。提示する制度や仕組み、取組み、組織などについては、既存のものであっても、新たに考案しても構わない。（３０点）

## [ 法 理 学 ]

いわゆる「運の平等主義 (luck egalitarianism)」と「関係的平等主義 (relational egalitarianism)」は同じ平等主義 (egalitarianism) と呼ばれるものの、その理論的性格は大きく異なる。両者の基本的主張内容を、それを知らない者にもわかりやすく説明せよ。なお、その際、関係的平等主義から運の平等主義に対し、どのような批判が向けられたかにも触れること。





